

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：鈦工業振興費

事業名 V R T C 航空宇宙産業等技術育成支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

工労働部 航空宇宙産業課 産業振興係 電話番号：058-272-1111(内3762)

E-mail：c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,168 千円 (前年度予算額：9,997 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,997	2,850	0	0	0	0	0	0	7,147
要求額	8,168	2,850	0	0	0	0	0	0	5,318
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

・県が成長産業と位置付けている航空宇宙産業においては、コロナ後の成長が見込まれる一方で、これに伴う受注拡大や受発注構造のグローバル化に対応するための優れた人材の育成・確保が重要である。

・一方、航空宇宙産業など成長分野全般において、CAD（コンピュータによる設計）技術者の育成は基盤技術の底上げに必須である。これまで実施してきたテクノプラザCAD研修事業の受講者は、川崎重工業やその関連企業が積極的に採用する動きがあり、CAD研修の受講希望の需要は引き続き高い状況。

(2) 事業内容

(株) ブイ・アール・テクノセンター（VRTC）が実施する以下の事業に対し、中小企業技術者の受講料免除および研修機器更新のための補助を行う。

○航空宇宙産業高度技術者育成支援事業（2,467千円）

・現場技能者、非破壊検査技術者育成（JIS規格・国際認証・機体製造における検査）、中核人材（構造設計）等の育成のための研修経費。

○テクノプラザCAD研修事業（5,701千円）

・CAD（航空機業界向けCATIA V5、Creo、SolidWorks、CAE等）研修経費、および当該研修に必要な機器の更新に要する経費。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・受講料補助：補助対象経費総額の1/3以内
- ・機器更新補助：補助対象経費の1/3以内

※各務原市は、同市内中小企業や川崎岐阜協同組合企業の受講に対し同等の補助を実施

※関市は、CAD研修への同市内中小企業の受講に対し同等の補助を実施。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	8,168	受講料補助、機器更新補助
合計	8,168	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
3 地域にあふれる魅力と活力づくり
- (2)次世代を見据えた産業の振興（航空宇宙分野）
 - ・岐阜県成長・雇用戦略
[4] 航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト

(2) 後年度の財政負担

・航空宇宙産業は今後（コロナ後）20年間で右肩上がりの成長が見込まれている。その間にも人は入れ替わりがあるので人材育成は継続して実施すべき。

(3) 事業主体及びその妥当性

- ・航空宇宙産業をはじめとする成長分野の技術者育成に関し、ノウハウ・実績を持つ(株) ブイ・アール・テクノセンターが主体となって実施する。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	VRTC航空宇宙産業等技術者育成支援事業費補助金
補助事業者(団体)	(株)VRテクノセンター (理由) 各種人材育成に関するノウハウや業界とのコネクションを蓄積しており、より効率的・効果的な研修を実施することができるため。
補助事業の概要	(目的) 県内の航空宇宙産業をはじめとしたモノづくり産業における技術者等人材の育成・確保。 (内容) 県内中小企業技術者の受講料免除及び研修機器更新のための助成を行う。
補助率・補助単価等	定率 (内容) <補助対象経費/補助率> (理由) ①航空宇宙産業高度技術者育成、テクノプラザCAD研修の受講料減免額/一般受講料の3分の1以内。 ②テクノプラザCAD研修事業の実施に要する機器の導入経費/3分の1以内
補助効果	自社内で人材育成を行う余力に乏しい中小企業における技術者等の知識や技能等の向上に大きく寄与し、企業の生産性向上等競争力の強化に繋がる。
終期の設定	終期 令和7年度 (理由) 企業人材は例年一定数の入れ替わりがあるため、今後も継続した支援が求められている。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>航空宇宙産業をはじめとした県内モノづくり産業における受注拡大や競争力強化に資する優れた技術者を今後も一定数継続して育成する。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H28)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①航空宇宙産業 技術者育成数	179	17	89	100	120	14%
②CAD技術者育成 数	480	429	296	330	400	107%

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	11,035	8,209	7,712

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 新型コロナ拡大の混乱期にある中において航空宇宙分野では受講数が少なかったが、リモート機器等を活用して一定数の受講者があった。
	指標① 目標：99人 実績：30人 達成率：30 % 指標② 目標：309人 実績：411人 達成率：133 %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響により、現場実習のある航空宇宙産業技術者研修は受講者数が少なかったが、リモート機器などを活用できるCAD技術者研修は一定数の受講者があった。
	指標① 目標：80人 実績：17人 達成率：21 % 指標② 目標：293人 実績：429人 達成率：146 %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	コロナ収束後の市場の回復・成長期において確実に受注を獲得・拡大していくために優れた産業人材の育成は重要な要素のひとつであり、継続的な実施が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 2	航空宇宙産業技術者育成研修、CAD研修共に、常に一定数の受講者数があり、事業(受講料補助)が有効に活用されている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	(株)VRテクノセンターが有する人材育成に関するノウハウや業界ネットワークを活用し、効率的・効果的な実施ができている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 コロナ感染拡大の影響で県内航空宇宙産業が低迷している中でも、長期的成長を見据え人材育成をこれまで以上に促進する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 製造業は本県の主要産業であり、特に航空宇宙産業はコロナ後の市場回復後には大きな成長が見込まれている。今後も県の基幹産業として継続的な成長を促進するために、優れた人材の育成を県が継続して支援する必要がある。
--